

## 第353回

# 日本泌尿器科学会新潟地方会

## 《プログラム》

日 時:平成22年3月13日(土)午後3時30分  
会 場:イタリア軒 5階『春日の間』  
新潟市中央区西堀通7 025-224-5111

次回 第354回新潟地方会予告

期日:平成22年6月12日(土)

会場:ホテルニューオータニ長岡 NCホール

演題申込期限:平成22年4月上旬

※ PC発表のみです。

※ 口演時間は、1題7分。討論3分

**日本泌尿器科学会会員証を必ずご持参下さい。**

951-8510 新潟市中央区旭町通1の757

新潟大学医学部泌尿器科学教室内

**日本泌尿器科学会新潟地方会**

会長 高橋 公太

TEL: 025 (227) 2289 / FAX: 025 (227) 0784

15:30~16:40

座長 水澤隆樹

### 1. 特異な遺伝子変異を示したVHL病の2家系

長岡赤十字病院 泌尿器科 安樂 力、鈴木一也、米山健志、森下英夫

VHL病は中枢神経、脊髄、副腎、腎臓、膵臓など多臓器に腫瘍は好発する常染色体優性遺伝性疾患である。特異な遺伝子変異を示したVHL病の6例を経験した。若干の文献的考察を加えて報告する。

### 2. 新潟大学医学総合病院泌尿器科における2009年手術統計

新潟大学大学院腎泌尿器病態学分野 笠原 隆、新井 啓、高橋公大

2009年における手術関連の出来事として特筆すべきは、限局性前立腺癌に対する高線量率組織内照射療法が6月から開始されたこと（アプリーター穿刺は泌尿器科医が施行する）、10月より手術室が中央診療棟へ移転したことである。昨年1年間の手術件数は延べ417件（404症例）であった。昨年の傾向としては、献腎移植が比較的多かったこと、ドナー腎採取術の術式がほぼ確立したこと、鏡視下腎摘除術が例年よりも多かったことが挙げられる。また、当院では照射modalityが多様化したことによって、前立腺癌に対する根治療法として放射線治療を受ける症例が今後さらに増えていくであろうと思われる。

### 3. 新潟県立新発田病院泌尿器科における最近10年間(2000~2009年)の

#### 手術統計

新潟県立新発田病院 泌尿器科 宮島憲生、金子公亮、波田野彰彦

当院では2000年から2009年までの10年間に3646件の手術を行った。この内緊急手術は138件であった。臓器別の内訳は副腎13件、腎尿管587件、膀胱902件、前立腺1708件、陰茎尿道185件、陰のう内容217件、その他34件であった。ESWLは2006年11月から開始し2009年12月まで合計565件、月平均14.9件行った。ESWLを除いた手術件数は2001年新体制から年間300件台に、2004年10月の医師増員後、400件台に増加していた。

### 4. がんセンター新潟病院における2009年の手術統計

新潟県立がんセンター新潟病院 泌尿器科

若月俊二、北村康男、斎藤俊弘、小松原秀一

2009年の手術は延べ841名、884件の集計であった。2007年の975件ほどではないにしろ、それに次ぐ件数と人数となった。個々の検討を行なうと腎癌手術は近年とほぼ同等、TURBTは2008年の249件より減って238件、一方膀胱全摘術は2008年の9件から16件と倍増していた。ダブルJカテーテルやRPなどの尿管へのアプローチの増加と上部尿路腫瘍の増加が認められた。

### 5. 当院の前立腺生検標本におけるGleason scoreの分布

新潟県立がんセンター新潟病院病理部<sup>1)</sup>、同 泌尿器科<sup>2)</sup>

川崎 隆<sup>1)</sup>、若月俊二<sup>2)</sup>、斎藤俊弘<sup>2)</sup>、北村康男<sup>2)</sup>、小松原秀一<sup>2)</sup>

2009年に当院で前立腺生検を施行され、前立腺癌と診断された155例を対象とした。Gleason

score(以下GS)の分布は、GS5(1例, 0.7%)、GS6(35例, 22.6%)、GS7(65例, 41.9%)、GS8(11例, 7.1%)、GS9(43例, 27.7%)であった。GS10はなかった。一般的な分布と比較するとGS5から8に違いはないが、GS9の分布が多かった。GS9には、印環細胞様癌や前立腺導管内癌などの特殊型が見られた。

## 6. ABO血液型不適合腎移植 - 新潟大学における治療戦略の変遷 -

新潟大学大学院腎泌尿器病態学分野<sup>1)</sup>、立川総合病院<sup>2)</sup>

金子公亮<sup>1)</sup>、田崎正行<sup>1)</sup>、諏訪通博<sup>2)</sup>、中川由紀<sup>1)</sup>、齋藤和英<sup>1)</sup>、高橋公太<sup>1)</sup>

新潟大学において、1996年4月からABO血液型不適合腎移植を開始し、2008年12月までに43例を実施した。免疫抑制療法は改良を重ね、大きく2期に分けられる。1996年4月から2004年8月までに実施された免疫抑制療法は、カルシニューリンインヒビターにステロイド・代謝拮抗剤を加えた3剤に、全例脾摘を併用したグループ(Group1(G1):n=19)と、2004年9月から2008年12月までに実施されたMMF、低用量ステロイドを術前1ヶ月前から投与、Rituximab併用脱感作療法を行い、脾摘を行っていないグループ(Group2(G2):n=24)である。この2群の臨床成績、合併症について比較検討するとともに、accommodation誘導により有効なプロトコルを確立したのでここに報告する。

## 7. 新潟県における平成20年度前立腺がん検診の結果報告

新潟県前立腺がん検討委員会

小松原秀一、西山 勉、森下英夫、羽入修吾、片山靖士、  
片桐明善、波田野彰彦、斉藤俊弘

平成20年度の前立腺がん検診は、対象者数166,006名に対し22,210名が受診(13.4%)し、要精検者数1,826(8.2%)、精検受診者数1,224(67.0%)、前立腺がん110名、がん発見率495.3(受診10万対)早期がん割合70.0%、陽性反応的中度(精検受診者に対して)9.0%であった。検診受診率、発見がん数が減少していた。

16:40-17:00

【日本泌尿器科学会新潟地方会総会】

[ 休 憩 17:00-17:20 ]

お 知 ら せ

日本泌尿器科学会専門医・指導医に必要な新潟地方会参加証は、地方会当日受付に用意しておりますので、必要な先生は受付に申し出て下さい。

# サテライトセミナー

日時:平成22年3月13日(土)

17時20分～18時10分

会場:イタリア軒 5階『春日の間』

17時20分～17時30分

〈製品紹介〉

## 「選択的 $\alpha$ 1A遮断薬 ユリーフ錠 の最近の話題」

第一三共株式会社

17時30分～18時10分

〈研究報告〉

司会 新潟大学大学院 腎泌尿器病態学分野  
准教授 西山 勉

Peripheral organs including prostate possesses the ability to synthesize locally sex steroids

～ステロイド合成酵素の視点から～

Centre de recherche du CHUQ、Centre hospitalier de l'Université Laval

山名 一 寿

共催 日本泌尿器科学会新潟地方会  
第一三共株式会社

※ サテライトセミナー終了後、3階 サンマルコにて懇親会を行います。